

岩手県内の水稲の出穂状況（8月3日現在概況速報）について

農業普及技術課 農業革新支援担当

1 水稲の出穂状況（県内農業改良普及センターによる一斉調査）

- (1) 県内の水稲の出穂始期（10%）は平年に比べ3日早い7月29日となりました。
- (2) 8月3日現在、県全体の出穂割合は80%（平年差24ポイント）となっており、平年よりも3日早く出穂盛期（50%）に達したとみられます。

表 地帯別 水稲の出穂状況（8月3日現在、各農業改良普及センター調べ）

地帯名	出穂割合（%）					出穂時期（月/日） ²⁾					
	本年	過年次同時期				始期	盛期	終期	平年差（日） ³⁾		
		平年	R4	R3	R2				始期	盛期	終期
北上川上流	71	54	38	91	45	7/30	8/2		-2	-3	
北上川下流	85	57	47	92	44	7/28	(8/1)		-4	(-3)	
東 部	63	46	35	88	33	7/28	(8/1)		-5	(-4)	
北 部	72	48	49	91	32	7/29	8/1		-4	-4	
県 全 体 ¹⁾	80	56	44	92	43	7/29	(8/1)		-3	(-3)	

1) 県全体…地帯別の水稲作付面積比による加重平均。

2) 出穂時期…始期：10%、盛期：50%、終期：90% の水田で出穂した日。（）内は盛期未到達の市町村を含むため推定値。

3) 平 年…平成25年～令和4年の10カ年の平均値。

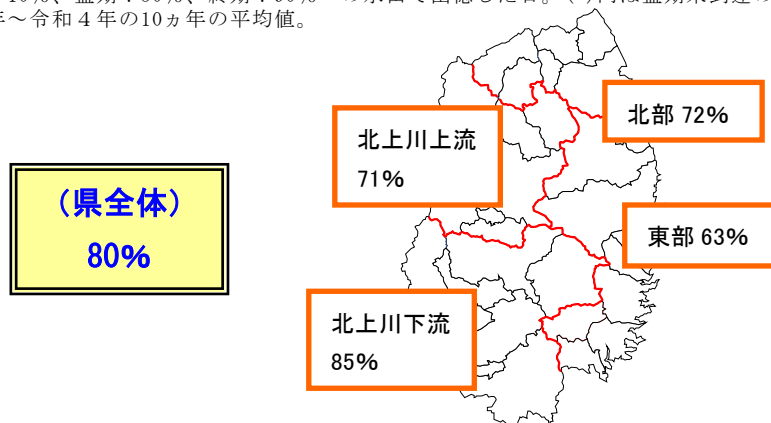


図 水稲の地帯別出穂割合（8月3日現在：各農業改良普及センター調べ）

2 当面の技術対策

(1) 水管理

出穂期は、浅水管理とします。

登熟期は、間断かんがい（数日間隔で湛水・落水を繰り返す）とし、夜間入水を基本とします。なお、登熟前半に高温が続く場合は、根の活力維持のため、水の入替え頻度を多くします。

(2) 穂いもち防除

上位葉での葉いもちの発生（穂いもちの伝染源となる）が、県南部で平年よりも多く発生しています¹⁾。

上位葉に葉いもちが見られる場合は、直ちに茎葉散布による防除を開始し、穂揃期1週間後まで7～10日間隔で実施します。

(3) 斑点米カメムシ防除

本年の斑点米カメムシの発生量は「多」の見込みです²⁾。

薬剤防除の適期は、穂揃期の1週間後です。なお、地域一斉に防除すると効果が高まります。

参考1) 令和5年度農作物病害虫防除速報 No. 9 水稲編-5（岩手県病害虫防除所 2023.7.26）

2) 令和5年度病害虫発生予察情報 注意報第6号（岩手県病害虫防除所 2023.7.28）